



平成 29 年 1 月 23 日

広島大学クロマチン動態数理研究拠点 市民講演会

数学と生物学の狭間で展開される、
ちょっと変わった研究をご紹介します

広島大学クロマチン動態数理研究拠点では、数理科学と生命科学の融合した新しい科学をテーマに、下記の市民講演会を開催いたします。

本講演会は、本拠点の細胞生物学・分子生物学を主たる専門とする実験系の研究者と、計測データをもとに数理モデルの構築や物理的機構の解析を進める数理科学系の研究者の緊密な連携により進められている融合領域研究の成果を市民に還元するための活動の一環であり、数学や理科にご興味をお持ちのどなたでもご参加いただけるものです。

この開拓途上の研究分野で広島大学が展開する、一見、風変わりな研究の面白さに触れるべく、ぜひご参加ください。

記

日時：平成 29 年 3 月 12 日（日） 14:00～16:40

場所：東広島芸術文化ホールくらら 小ホール（JR 山陽本線 西条駅 徒歩 7 分）

参加費：無料

事前申込：不要

（車いす席、親子席がございますが、お身体の不自由な方、乳幼児をお連れの方など、ご希望がございましたら下記までお問合せください）

プログラム

14:00～14:10 はじめに

14:10～15:10 講演 1 「数理科学と生命科学の融合 ―アリの社会分業の仕組みを実験と数理モデルで解明する―

西森 拓（理学研究科 数理分子生命理学専攻 教授）

15:30～16:30 講演 2 「粘菌からロボットへ ―単細胞が教えてくれること―

小林 亮（理学研究科 数理分子生命理学専攻 教授）

16:30～16:40 おわりに

※なお、講演会に先立つ 3 月 7 日より、同会場にて、国際シンポジウム “The 5th International Symposium of the Mathematics on Chromatin Live Dynamics” ほか関連行事を開催いたします。ご興味をお持ちの関連分野の研究者・学生の方は、是非ご参加ください。

本行事は、日本医療研究開発機構 生命動態システム科学推進拠点事業の支援を受けています。

【お問い合わせ先】

広島大学クロマチン動態数理研究拠点 事務局
Tel：082-424-7898 FAX：082-424-7898
E-mail：rcmcd@hiroshima-u.ac.jp



広島大学

Mathematical and Life Science Week, Hiroshima
7-12 March 2017

広島大学クロマチン動態数理研究拠点
市民講演会

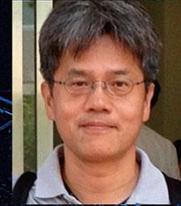
数理と生命科学

数学と生物学の狭間で展開される、ちょっと変わった研究を
広島大学の2人の教授が紹介します

西森 拓

数理学と生命科学の融合

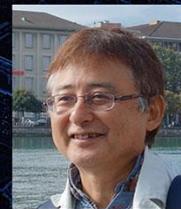
—アリの社会分業の仕組みを実験と数理モデルで解明する—



小林 亮

粘菌からロボットへ

—単細胞が教えてくれること—



2017年3月12日(日) 14:00~16:40

東広島芸術文化ホールくらら 小ホール

入場無料・事前申込不要

中学・高校生から一般の方を主な対象としておりますが、どなたでも御参加いただけます。
車いす席、親子席がございますが、お身体の不自由な方、乳幼児をお連れの方など、
御希望がございましたら、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先: 広島大学クロマチン動態数理研究拠点 事務局
Tel/Fax: 082-424-7898 e-mail: rcmcd@hiroshima-u.ac.jp

